

本時のねらい

・タブレットを用いて、模様やデザインをピクセルアートで表現することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・模様やデザインをデジタルアートで表現することを楽しむ。
- ・塗りつぶしや色の変更などが単純な操作でできるため、児童が意欲的に活動することができる。
- ・作品を作っていく中で、iPad Appの基本操作を自然に覚えることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・大型モニター
- ・Apple TV
- ・Numbers
- ・学習支援アプリ（ロイロノート）
- ・ドットタウン（ドット絵ダウンロードサイト）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○今日のめあてを確認する。 「ピクセルアートを作ろう」 ○Numbersの操作方法を確認する。 【写真1】	・教師の見本を提示し、イメージを膨らませる。 ・マスの塗りつぶす数による作品の印象の違いを掴ませる。 ・色の変更、コピー＆ペーストなどの操作を確認することで、前時の経験を思い出させる。
展開 (30分)	○前時に選んだデザインを元に、ピクセルアートを作る。 ○作成できたところまでを友だちと見せ合う。 ○ピクセルアートの続きを作る。 【写真2】	・前時にドットタウンより選んだデザインを Split View（画面分割）で表示し、Numbersのマスを塗りつぶしていく。 ・マス数はいくつか用意しておき、作成したいデザインに合わせて児童自身で選べる。 ・1つめが完成した児童には、シートを複製して更に作ってよいことを伝える。 ・塗りつぶし方の上手な例（先に枠を囲う、同じ色の部分をまとめて行う、曲線の表し方など）を取り上げ、紹介することで作業の効率化を実感させる。 ・アレンジを加えてもよいことを伝え、創造性を高めていく。
まとめ (5分)	○作品を提出し、交流する。 【写真3】 ○次時の内容を確認する。	・ロイロノートの提出箱に提出し、それぞれの作品を交流する。 ・次時には、作成したピクセルアートに振り返りを加え、シートを完成させることを伝える。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1 Numbersの操作方法を確認している場面



写真2 自分で選んだデザインを元に、ピクセルアートを作成している場面

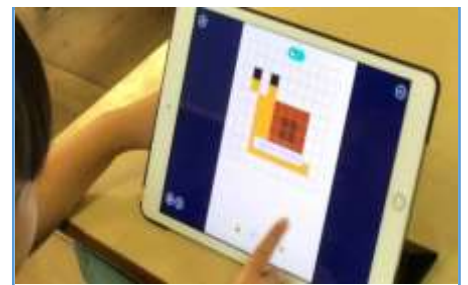


写真3 友だちが作成したピクセルアートを交流している場面

児童生徒の反応や変容

- ・色の変更や訂正が容易なため、普段図工が苦手な児童も楽しみながら集中して活動にとり組むことができた。
- ・マス数を変えた作業シートを複数用意したことで、児童一人ひとりが自分の難易度に合わせたシートを選び、デザインを作成することができた。
- ・作成途中でお互いの作品を見てアドバイスし合う時間をとり入れることで、自分の作品に自信をもったり、操作方法の理解を深めたりすることができた。
- ・Numbersからロイロノートに書き出して提出させることで、児童全体でそれぞれの作品を共有することができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・iPadに最初から入っているアプリ（Apple純正アプリ）に改めて注目することで、教科での活用の幅が広がることできる。
- ・Split View（画面分割）を活用することで、見本と作業シートを並べることができ、タブレット1台で効率的に作業を行うことができた。